

Plan 2013

平成23年度～平成25年度

中期経営計画

目次

JAたじま中期計画「Plan 2013」の基本方針（スローガン）	2
中期計画「Plan 2013」概要	3
3 つ の 柱	4
実 施 概 要 但馬の農力を活かした持続可能な農業の展開	6
実 施 概 要 くらしを支える活動の展開	10
実 施 概 要 地域とのきずなを深めた魅力あるJA活動の展開	12
J A 網 領	13

たじまに生きる たじまを活かす

JAたじまでは、中期計画「Plan 2013」の基本方針（スローガン）を「たじまに生きる たじまを活かす」とします。

新温泉町

香美町

豊岡市

この基本方針（スローガン）は、前中期計画の基本方針（スローガン）と同じものです。

この言葉には、JAたじまが「但馬に根ざした活動を通して地域とともに発展していきたい」、「但馬にあるすべての人・自然・資源を生き活きとさせていきたい」という思いが込められています。

養父市

朝来市

これからの3ヵ年、農業や組合員のくらしをとりまく環境は、厳しさが増すことが見込まれます。この厳しさに向かうため、コウノトリとの共生にみられるような、但馬の素晴らしい自然環境を守りながら、協同の力で但馬の人々が元気になるような取り組みをすすめることとし、中期計画「Plan 2010」の基本方針（スローガン）を継続することとします。

中期計画

「Plan 2013」

概 要

農 業

但馬の農力を活かした 持続可能な農業の展開

但馬の農業を持続可能なものとするため、但馬の農業が持つ力、「農力」を活かした活動に取り組みます。地域の特色を活かした営農振興と生産基盤の強化をはかるとともに、ファーマーズマーケットの開設など販売活動の強化につとめます。

「農力」とは

農業が持つ、地域に活力を与える能力を「農力」と呼ぶこととします。

但馬で行われている、自然環境と共生する農業は、地域色豊かな農畜産物を生み出すだけでなく、環境を保全する力や、くらしや文化を豊かにする力を持ち、地域に活力を与えています。JAたじまでは、そのような「農力」を活かした活動で持続可能な農業の展開に取り組みます。

くらし

くらしを支える活動の展開

組合員・地域の方々が明るく元気に暮らせるよう、事業活動を通じて、皆様のくらしを支える活動に取り組みます。相談機能を強化するとともに、くらしの安全や健康を守る活動の充実につとめます。

経営

地域とのきずなを深めた魅力あるJA活動の展開

組合員が参加・参画したJAづくりをすすめるとともに、協同活動や農業の理解者を増やすため、地域とのつながりを深める活動に取り組みます。また、健全経営と一層の経営基盤の強化に取り組みます。



但馬の農力を活かした 持続可能な農業の展開

実施年度の表記は○…実施・導入など △…調査・研究・検討などを表します

取組事項	実施事項	実施年度			主な取り組み事項
		23年	24年	25年	
生産基盤の強化と戦略的販売の実施	地域を活かした特産物づくり				
	① 指定産地・重点品目の維持・拡大	○	○	○	ピーマン・大根・キャベツ・ほうれんそう・岩津ねぎ・トマト・丹波黒大豆・梨
	② 朝倉さんしょの生産拡大	○	○	○	定植本数：年間 2,000 本
	③ 地域ブランド品目の生産拡大	△	△	○	美方大納言：50t コウノトリ大豆：100ha
	④ 新規振興品目の研究	△	△	○	こかぶ：10ha 機能野菜の検討（ウコン、にんにく、ハーブ等） ファーマーズマーケットを活用した試験販売
	持続性のある稲作の継続				
	① 基幹品種コシヒカリの高温対策	○	○	○	研修会や座談会の実施
	② 新規基幹品種の研究・試験	○	○	○	試験圃場の設置
	③ 既存商品の定着・レベルアップ	○	○	○	契約栽培米の定着 お米の食味向上に向けた研究
	④ 環境に配慮した米づくりの推進	○	○	○	ふるさと ^{たじま} 但馬米・コウノトリ育むお米の生産拡大
	品目別・複合的販売戦略による販売				
	① 地産地消の推進	○	○	○	推進拠点としてのファーマーズマーケットの活用 管内地方市場・量販店との連携
	② 戦略に基づいた計画的な販売	○	○	○	基幹品目を活かした複合販売の実施 産地・市場情報を活かした販売対応
	③ コウノトリの贈り物の拡充	△	△	○	39 品目→50 品目
	④ 契約栽培米の販売強化	○	○	○	直接販売のリスク管理強化 つちかおり米の販売維持 みかた棚田米の販売拡大 コウノトリ育むお米の販売拡大

但馬の農力を活かした 持続可能な農業の展開



取組事項	実施事項	実施年度			主な取り組み事項
		23年	24年	25年	
地域農業を支える営農事業の展開	農産物づくりを支援する営農指導と資材供給				
	① 農業生産工程管理の徹底による安全・安心な農産物づくり	○	○	○	組織毎のPDCAサイクル ^(注1) の実践 (GAP ^(注2) 手法の定着)
	② 営農指導と連携した資材・農機供給	○	○	○	生産計画に基づく予約注文の強化 営農指導と連動した店づくり 農作業安全講習の実施
	③ 営農相談能力と機能の向上	○	○	○	目標管理・時間管理手法の定着
	地域内六次産業化による組合員の所得向上と地域活性化				
	① 地域食文化を活かした加工品の研究と開発	△	△	○	品目掘り起こしの検討会 加工所と連携した研究・開発
	② 地域内企業や地域内加工所との連携	○	○	○	朝倉さんしょの加工品開発 ピーマンの加工品開発 岩津ねぎの一次加工品
	組合員ニーズに対応した施設運営				
	① 新技術に対応する水稻育苗施設の検討	△	○	○	温湯消毒技術の研究
	② 地域の担い手や集落と連携したCE・RC運営の検討	△	△	○	小ロット対応の研究
	③ 生産振興を支える野菜育苗施設の運営	○	○	○	優良苗の供給と耐病性技術の研究
	④ 有利販売のための特産利用施設の整備	○	○	○	黒大豆乾燥調整施設の更新 岩津ねぎ包装センターの検討



但馬の農力を活かした 持続可能な農業の展開

取組事項	実施事項	実施年度			主な取り組み事項
		23年	24年	25年	
但馬の農業を次世代へ引き継ぐ取り組み	地域農業の担い手・集落営農組織への支援				
	① T A C ^(注3) を中心とした、出向く 営農・経営相談活動の展開	○	○	○	農家訪問の充実
	② 集落営農組織育成の支援	○	○	○	集落営農検討会への参画と情報提供
	③ 担い手・集落営農組織への農業関係 資金融資制度の充実	○	○	○	特別枠での低利資金融資
	農地保全・鳥獣害対策の取り組み				
	① 農作業支援システムの構築	△	△	○	農作業支援組織（草刈、畝たて、田植え等）の設置
	② 行政と連携した鳥獣害対策への取り組み	○	○	○	鳥獣害防止対策研修会の実施
	③ 遊休、耕作放棄地を抑制させる農産物の 提案	△	○	○	有望な品目を選定し、地域へ提案
	「食と農のかけはし」の取り組み				
	① 女性会、部会などと連携した食農教育の 実践	○	○	○	地元農産物を活用した料理講習会の実施 食農教育イベントの受入体制の整備・ 組織化
	② 家庭菜園農家の技術向上	○	○	○	営農相談員による家庭菜園教室の定期的開催
	③ 学校との連携による食育学習の実施	○	○	○	農産物の栽培体験を実施
	④「食と農」の理解の促進	○	○	○	イベントの場やHP、広報誌等を活用した タイムリーな情報発信 あぐりキッズスクールの実施
	⑤「持参地消」活動 ^(注4) の実施	△	○	○	部会に対する持参地消旅行の企画提案・実施

但馬の農力を活かした 持続可能な農業の展開



取組事項	実施事項	実施年度			主な取り組み事項
		23年	24年	25年	
農業活性化の拠点となる ファーマーズマーケットの運営	地産地消の拠点として				
	① 登録生産者の拡大	○	○	○	800名の登録
	② 売れる喜び、作る楽しさを実感できる店舗づくり	○	○	○	販売情報や売れ行き状況の情報提供
	③ 少量多品目でオールシーズン販売の実施	○	○	○	周年栽培に向けたパイプハウスの推進 冬季販売品目の勉強会の開催
	④ 生産者と消費者との交流の場の設置	○	○	○	イベント広場の活用
	⑤ 農畜産物加工の起業化を支援するための資金融資	○	○	○	アグリマイティ資金等による資金融資
但馬牛の産地を守る取り組み	但馬牛の生産				
	① 但馬内 4,000 頭に向けた取り組みの実践	○	○	○	国の施策を活用した増頭の実施 JAによる預託事業の実施
	② 繁殖和牛マニュアルの作成・普及（すくすく草育ちの普及）	○	○	○	飼育マニュアルの講習会・研修会の開催
	③ 畜産ヘルパーの充実	○	○	○	畜産ヘルパー登録者数の拡大
	④ 農家への経営指導・税務相談機能の充実	○	○	○	農業改良普及センターと連携した指導の実施
	⑤ 耕種農家と連携した粗飼料の確保と循環型農業の確立	○	○	○	耕畜連携事業による生産基盤育成への支援
	⑥ 能力（育種価）の高い雌牛・遺伝的多様性の更新および確保	○	○	○	優良繁殖促進事業の実施 熊波系・城崎系の育成の実施
	但馬牛・但馬ビーフの販売				
	① 家畜市場の購買者確保のための販路拡張	○	○	○	内外購買者の誘致の実施
	② 枝肉共励会の実施と販路拡張	○	○	○	枝肉共励会の定例化、県内外への販路拡張の実施
	③ 但馬ビーフ販売と但馬牛のPR	○	○	○	肉の店と連携した但馬牛のPRと消費拡大

(注1)PDCAサイクルとは、品質改善や、業務改善活動などで広く活用されているマネジメント手法のひとつであり、「計画 (Plan)」「実行 (Do)」「評価 (Check)」「改善 (Action)」のプロセスを順に実施していくものです。

(注2)GAP(Good Agricultural Practice)とは、農産物生産の各段階で生産者が守るべき管理基準とその実践のことで、農産物の安全、環境への配慮、作業者の安全と福祉などの視点から、適切な農場管理のあり方についてまとめられたものです。

(注3)TAC(Team for Agricultural Coordination)とは、地域農業の担い手を訪問して、ご意見・ご要望をうかがい、誠実にお応えするとともに、経営に役立つ各種情報をお届けする役割を持った、担い手対応専門担当者であることをいいます。

(注4)「持参地消」活動とは、生産者自らが生産した地元農畜産物を事前に旅行先に送付し、料理として出していただくことで、親睦と産地のPRを兼ねた旅行とする活動のことをいいます。



くらしを支える 活動の展開

取組事項	実施事項	実施年度			主な取り組み事項	
		23年	24年	25年		
くらしの相談活動の強化	地域の相談機能の構築					
	① くらしの相談員 ^(注1) の設置	○	○	○	支店環境に合わせて設置	
	② 総合相談窓口の設置	△	○	○	くらしのあらゆる相談に対応する窓口をモデル店舗に設置	
	相談機会と機能の充実					
	① くらしに関する相談会・セミナー開催	○	○	○	住宅ローン・年金相談会の開催 医療・年金セミナー開催	
	② 弁護士によるくらしの無料法律相談	○	○	○	上期2回、下期3回開催	
	③ 弁護士による無料交通事故相談	○	○	○	毎月実施	
	くらしの相談に対応する職員の人材育成					
	① 渉外担当者の専門的知識・相談機能の向上	○	○	○	年金アドバイザー資格の渉外担当者全員取得	
	② ライフプランに沿った保障や情報提供・税金など相談機能に対応できる人材の確保	○	○	○	ファイナンシャルプランナー資格の取得	
	③ 認知症サポーター ^(注2) ・キャラバンメイト ^(注3) 教育の拡充	○	○	○	認知症サポーター資格の全職員の計画的な取得	
	④ 介護スタッフの確保	○	○	○	ケアマネージャー等有資格者の取得 ヘルパー2級講習の実施	
	くらしの安心を支える活動	安心な生活金融サービスの提供				
		① 住宅・マイカー・教育など生活資金の提供	○	○	○	キャンペーンの実施による優遇金利での提供
② 子育て支援金融商品の提供		○	○	○	金利優遇定期積金の取り扱い	
③ 生活メインバンク機能の強化		○	○	○	給与・年金振込口座への決済機能セットの促進	
くらしのリスクから守る活動						
① 3Q(サンキュー) 訪問活動 ^(注4) と組合員建更全戸加入運動の展開		○	○	○	3Q(サンキュー) 訪問活動により契約内容の説明を実施 未加入者へ、ニーズにあった共済の提案・加入促進 建更の仕組改訂に伴い全戸加入運動を実施	
② 大規模自然災害に備えた損害調査体制の整備		○	○	○	建物審査員・自然災害調査員資格取得者を増員し迅速な対応を実施	
③ 交通事故発生時の契約者への安心の提供		○	○	○	JA自動車共済ならではの「現場急行サービス」の実施とPR	
④ LPガス 24時間保安体制の維持		○	○	○	法令遵守の徹底	

取組事項	実施事項	実施年度			主な取り組み事項
		23年	24年	25年	
くらしの安心を支える活動	高齢者のくらしを支える活動				
	① 高齢者世帯へのきめ細やかな渉外活動	○	○	○	高齢者宅への現金宅配の実施 独居高齢者取引世帯への訪問
	② 年金友の会会員優遇金融商品の提供	○	○	○	金利優遇定期積金の取り扱い
	③ 地域に密着した新たな介護サービスの検討と実施	△	○	○	小規模介護サービスの展開
	④ 東デイサービスの機能アップ	△	△	○	地域ニーズにあったサービスの拡充
健康で文化的なくらしを支える活動	健康で文化的なくらし作り				
	① 健康管理活動の継続・特定検診受診率の向上	○	○	○	特定検診・町ぐるみ健診の継続 イベント健診の実施
	② 会員の年齢層に合わせた年金友の会活動の充実	△	△	○	「若い年金受給者世代」への新しい対応の検討・実施
	③ 女性会組織の活性化と支援	○	○	○	健康寿命100歳プロジェクト ^(注5) への支援 フレッシュミズ組織や女性大学設置の検討と支援
	④ 魅力ある旅行の提案	△	○	○	ケアサポートトラベルの実施
人と自然環境に優しいくらしを支える活動	環境に配慮した経済的なくらし作り				
	① ガスを使った快適で環境にやさしいくらしの提案	○	○	○	エコジョーズ(高効率給湯器)の推進
	② 組合員環境活動の応援	○	○	○	たじまJA女性会が行うチャレンジ25 ^(注6) への支援
	③ エコ製品の取扱拡大	○	○	○	LED電球・ペアガラス等エコ商品の普及活動実施

(注1) くらしの相談員とは、金融、共済、営農など、くらしに関するあらゆる相談に対応できる渉外担当者のことを指します。

(注2) 認知症サポーターとは、「認知症サポーター養成講座」を受講した方のことをいいます。認知症を正しく理解してもらい、認知症の人や家族を温かく見守る応援者となります。

(注3) キャラバンメイトとは、所定の研修を受講し、登録を行った、「認知症サポーター養成講座」の講師役となることができる人のことを指します。

(注4) 3Q(サンキュー)訪問活動とは、ありがとうの気持ちを込めて、既契約者を訪問し、3つの質問(「病気・ケガによる入院・手術などはありませんでしたか?」「ご家族のみなさんにおかわりありませんか?」「保障内容でご不明・ご心配なことはありませんか?」)を行うとともに、共済金請求漏れや、異動手続漏れなどの確認を行い、加入世帯とのつながりを強化する活動です。

(注5) 健康寿命100歳プロジェクトとは、「運動」「食事」「健診・介護・医療」の3本柱を中心に、社会活動への参加などの「ゆとりといきがい」活動を加えた構成により、組合員、地域住民が100歳まで元気にくらす体づくりに取り組む活動です。

(注6) チャレンジ25とは、政府が掲げる、地球温暖化防止のための国民的運動のことです。温室効果ガス排出量を2020年までに1990年比で25%削減し、地球と日本の環境を守り、未来の子どもたちに引き継いでいくことを目的としています。



地域とのきずなを深めた 魅力あるJA活動の展開

取組事項	実施事項	実施年度			主な取り組み事項
		23年	24年	25年	
協同活動による地域の活性化	組合員活動の活性化				
	① 組合員加入運動の実施	○	○	○	事業利用者・後継者・女性の組合員加入促進
	② 組合員が参画した地域密着型の支店づくり	○	○	○	支店運営委員会、農協委員会の充実 地区座談会の実施 地域ふれあい活動・支店ふれあい旅行の実施 社会貢献的活動の実施
	③ 組合員活動を支える広報活動の充実	○	○	○	組合員活動を的確に伝える広報活動の実施
	④ 組合員事業利用の拡大	△	△	○	利用高配当の実施
	地域活動への参加とJA情報の発信				
	① 地域スポーツ大会への支援	○	○	○	但馬全域対象のスポーツ大会（バレー、野球、サッカー）の支援
	② マスコミへのタイムリーな情報提供	○	○	○	積極的なプレスリリースの実施
	③ ITを活用した利用者・消費者への情報提供	○	○	○	店頭告知やHPなどを活用した情報提供の実施
	健全経営を支える経営基盤の強化	経営効率の改善			
① コンプライアンス体制・内部統制の強化		○	○	○	内部統制の整備とそれに伴う業務改善の実施
② 業務システムの利便性向上による業務品質の向上		○	○	○	情報システムの整備
③ 不稼動資産の活用と整理		○	○	○	活用の検討と計画的な処分の実施
④ 農機事業改革		△	○		農機事業の全農一体化運営への参加
⑤ 出資証券のペーパーレス化		△	○		
⑥ 純資産の充実		○	○	○	内部留保率 80%以上の確保
計画的な施設整備					
① 本店の整備		△	△	○	本店候補地の検討
② 支店の整備		○	○		美方・広谷支店の改築
③ 営農施設の整備		△	△	△	豊岡・出石・日高カントリーエレベーターの集約・整備
④ 和田山地区営農施設の整備		○	○	○	和田山支店敷地内とカントリーエレベーター周辺の施設整備
⑤ 肉の店の整備		△	△	○	温泉肉の店の整備
⑥ LPガス施設の整備		○	○	○	既設埋設管の計画的整備
JAを担う職員育成					
① 職員の資格取得推進	○	○	○	部門間連携による研修・資格取得計画の策定	
② 管理職のマネジメント力向上	○	○	○	協同組合人としての育成強化	

J A 綱 領

－ わたしたち J A のめざすもの －

わたしたち J A の組合員・役職員は、協同組合運動の基本的な定義・価値・原則（自主、自立、参加、民主的運営、公正、連帯等）に基づき行動します。そして、地球的視野に立って環境変化を見通し、組織・事業・経営の革新をはかります。さらに、地域・全国・世界の協同組合の仲間と連携し、より民主的で公正な社会の実現に努めます。

このため、わたしたちは次のことを通じ、農業と地域社会に根ざした組織としての社会的役割を誠実に果たします。

わたしたちは、

1. 地域の農業を振興し、わが国の食と緑と水を守ろう。
1. 環境・文化・福祉への貢献を通じて、安心して暮らせる豊かな地域社会を築こう。
1. J A への積極的な参加と連帯によって、協同の成果を実現しよう。
1. 自主・自立と民主的運営の基本に立ち、J A を健全に経営し信頼を高めよう。
1. 協同の理念を学び実践を通じて、共に生きがいを追求しよう。

この中期経営計画「Plan 2013」に掲載しています内容は、J A たじまが平成 23 年度以降の 3 年間に行う予定であるものをまとめたものです。

そのため本資料に記載された意見や予測などについては、資料作成時における判断であり、社会情勢や経営状況などにより変更を余儀なくされることがありますが、変更については毎年開催します総代会において単年度計画に反映しご報告等を行います。

